

## 第4学年 外国語活動学習指導案

日時 令和元年 10月11日(金) 公開授業①  
児童 4年1組 男子18名 女子16名 計34名  
場所 中学年ルーム  
指導者 大野 里香

1 単元名 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう (Let's try!② Unit 5)

2 主な言語材料

(1) 基本文

Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I [have/don't have](a pen).

This is for you.

(2) 語句

have, 身の回りの物 (glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener, pencil case, desk, chair, clock, calendar)

[既出]挨拶, How's the weather? It's [sunny/rainy/cloudy/snowy]. What day is it?

It's (Monday). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like?

I like (soccer). (The "A" card), please. How many (apples)? Ten (apples).

状態・気持ち (big, small, long, short), 形, 色, スポーツ, 動物, 飲食物, 数, 身の回りの物 (pencil, eraser, ruler, crayon), 数 (1~60)

3 単元について

(1) 教材について

本単元では、文房具など学校で使う物や持ち物を題材とし、お互いの持ち物について尋ねたり答えたりすることや、自分の持ち物について、相手と伝え合おうとすることなどを目標としている。

文房具などの持ち物は学校生活と密接に関わっているため、児童にとって大変身近である。「〇〇を持っている? 〇〇を貸して。」「いいよ。」のように貸し借りをする際のやり取りも日常的である。

また、文房具などの持ち物には、学校へ持ってきてよいもの、よくないものなどの決まりがあるが、休み時間にそれらを並べて形を作ったり、ボールペンのスプリング部分を使って消しゴムを飛ばす距離を競ったりするなど、遊具として扱われる一面も見られる。また、店頭には多様な文房具が並んでいるため、児童同士が関心をもちやすく、話題となることも多い。

以上のことから、児童が実物を手にしながら英語で尋ねたり応えたりする表現に慣れ親しんだり、意図をもって選んだり、自分の考えについて話したりして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成していくことにおいて適した教材と考える。

(2) 児童について

児童はこれまでの学習で、挨拶、数、形や色、天気、好きなものを尋ね合う表現、友達を遊びに誘う表現、曜日や時刻の尋ね方や答え方などを学んできた。児童の多くは、外国語活動が好きで進んで活動している。また、電子教材等を活用した学習を通して外国語の発音を真似てみたりゲームを通して新しい表現を使ってみたりして、意欲的に学習に取り組んでいる。

しかし、実際に英語を使ってコミュニケーションする活動では、難しさを感じたり間違いを恐れたりして消極的になる児童もいる。そこで、本単元では、児童に、伝える楽しさ、喜び、達成感を味わわせることができるよう活動や評価の工夫をすることが必要と考える。

(3) 指導にあたって

本単元の見終活動は、友達のために作った文房具セットについて紹介することである。その活動に向けて次のように学習を展開していく。

「出会う」段階では、単元の目標を提示し、児童に単元全体の見通しをもたせる。身近な文房具について話題にしながら、文房具などの学校で使う物の言い方に関心をもちさせる。

「慣れる」段階では、ゲームやチャンツを通して、相手の持ち物の尋ね方や答え方に慣れ親しませる。扱う語彙は多いが、実物を用いて、楽しく英語に慣れ親しめるようにする。さらに、友達のための文房

具セットを考え、お店やさんごっこの要領でやり取りして、それぞれの文房具セットを作らせる。

「伝える」段階では、友達のために作った文房具セットを、説明を加えて紹介する。また、作った文房具セットを相手に贈り、贈られた側は感想やお礼を伝える。終末には、伝え合ったり発表し合ったりしたがんばりや、相手のために考えたり相手に考えてもらったりした喜びを振り返らせ、今後の活動への意欲につなげる。

#### 4 単元の目標及び評価規準

##### (1) 単元の目標

- ・文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【知識及び技能】
- ・文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。【思考力、判断力、表現力等】
- ・相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

##### (2) 単元の評価規準と評価方法

観 点	内 容	方 法
知識及び技能	・文房具などの学校で使う物の言い方を聞いたり言ったりしている。 ・文房具などの学校で使う物について、聞かれたことに答えている。	行動観察 自己評価 相互評価
思考力、判断力、 表現力等	・文房具などの学校で使う物について、尋ねたり答えたりしている。	相互評価 振り返り
主体的に学習に 取り組む態度	・はっきりと話したり、相手の話をうなずきながら聞いたりして、文房具などの学校で使う物について伝え合おうとしている。	シート

#### 5 単元指導計画

(別紙)

#### 6 本時の指導（3／4時間）

##### (1) 目標

文房具などの学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。【思考力、判断力、表現力等】

##### (2) 研究との関わり

次時に、単元の最終活動である「友達のために作った文房具セットの紹介」をするために、本時では、自分の欲しい文房具を集めて、友達のために文房具セットを作る活動をする。思い描いた文房具セットを作るためには、自分が欲しい文房具を確実に手に入れなければならない。そのために、「欲しい文房具名や、その数や色を伝えること」や「はっきりした声で話すこと」の大切さをシェアリングタイムで話し合い、意識してやり取りできるようにさせたい。また、もらう相手の反応を想像しながら文房具セットをつくる活動を通して、コミュニケーション活動への意欲や達成感をもたせたい。

(3) 展開

時 程	学習活動	指導者の活動	○指導上の留意点 ◎評価 ◇配慮を要する児童への手 立て
導 入  10 分	<p><b>【Warm Up】</b></p> <p>1 Greetings</p> <p>2 Let's Chant "Do you have a pen?"</p> <p>3 Today's goal</p> <div data-bbox="304 667 1018 734" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>友達のために、文ぼう具セットをつくろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔で明るく挨拶をする。</li> <li>・児童と一緒に歌う。</li> <li>・単元のゴールに向かうための本時のめあてを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導上の留意点</li> <li>◎評価</li> <li>◇配慮を要する児童への手立て</li> <li>○グループでも挨拶させる。</li> <li>○天気や曜日、時刻についても尋ねる。</li> <li>○楽しい雰囲気でチャンツさせる。</li> </ul>
展 開	<p><b>【Main Activity】</b></p> <p>4 Let's Play 「文房具ビンゴゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビンゴカードの空いている1マスに好きな文房具を書く。</li> <li>・ビンゴになるように、お互いの持っている文房具を尋ねたり答えたりする。</li> </ul> <div data-bbox="304 1126 1018 1227" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>S1 : Do you have a ruler? S2 : Yes, I do. / No, I don't.</p> </div> <p>5 Activity 「文ぼう具セットをつくろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店屋さんごっこの要領で、文房具を渡す側ともらう側に分かれ、欲しい文房具について尋ねたり答えたりしながら文房具セットの中身を集める。 (1回目)</li> </ul> <div data-bbox="304 1664 1002 1921" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>S1 : Do you have red pencils? S2 : Yes, I do. How many? S1 : Two, please. S2 : Here you are. S1 : Thank you.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルを示して、ルールを理解させる。</li> <li>・初めは HRT と、次は隣の席の友達とやり取りして慣れさせてから、教室内を歩き回ってやり取りさせる。</li> <li>・やり取りの仕方をデモンストレーションして、モデルを示す。</li> <li>・話すことの手掛かりにできるよう、話す内容を黒板に絵や図で表す。</li> <li>・相手がもらってうれしい文房具セットを作ることを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ゲームの前に、文房具の言い方を確認する。</li> <li>○“Do you have～? “Yes, I do. / No, I don't.” の表現に慣れ親しませる。</li> <li>○本時までには、文房具セットを贈る相手を決め、文房具セットの中身を考えさせておく。</li> <li>◇尋ね方や答え方に戸惑う児童に寄り添い、一緒に会話する。また教え合いながら会話してよいことを伝える。</li> </ul>

30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>集めた文房具をケースに並べて文房具セットを作り，できあがったら写真を撮る。</li> <li>シェアリングタイム</li> <li>役割を交代し，文房具セットの中身を集める。(2回目)</li> <li>文房具セットを作り，写真を撮る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達のための文房具セットを写真に撮って残させる。</li> <li>尋ね方や答え方に慣れ親しんでいないものがあつたら，慣れ親しませる活動をする。</li> <li>買い物した文房具について，感想を交流させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎文房具などの学校で使う物を尋ねたり答えたりしている。(行動観察，相互評価，振り返りシート)</p> </div>
終末 5分	<b>【Reflection】</b> 6 Reflection <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシートに記入する。</li> <li>振り返りを発表する。</li> </ul> 7 Greetings	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達とのやり取りで頑張ったことや気付いたことか，文房具セットを作った感想を書かせ，発表させる。</li> <li>活動のよかった点を伝える。</li> <li>終わりの挨拶をする。</li> </ul>	○観点をしばって振り返らせ，よかったところを全体で共有する。

## 7 板書計画

### Today's goal

友達のために，文ぼう具セットをつくろう。

Greetings

Let's Chant

Let's Play

「文ぼう具ビンゴゲーム」

Activity

「文ぼう具セットをつくろう」

Reflection

Greetings

pencil	ruler	marker	stapler
eraser	glue stick	calendar	magnet
pencil case	pen	notebook	pencil sharpener

